

2022

O B M MONTHLY

VOL. 270

大阪ビルメンテナンス協会マンスリー

大阪市西区江戸堀2丁目6番33号 江戸堀フコク生命ビル8F TEL.06-4256-5371 FAX.06-4256-5375 E-mail: osakabma@obm.or.jp

www.obm.or.jp



互光建物管理株式会社は昭和二六年（一九五一年）に新光クリーナーとして創業、昭和三年（一九五八年）に株式会社互光商會を設立、昭和三九年（一九六四年）に現在の社名に変更しました。創業以来、総合建物管理企業としてサービスの品質向上に努め、メンテナンスのソフトとハードの両面から、人々の快適さを追求し、オーナー様よりご満足をいただいております。都市はますます巨大化、複雑化してまいります。それに伴い重要性を増す建物の防犯・防災・衛生・セキュリティなどに取り組み、安心と財産である建物を守る担い手として「ベストクオリティ・メンテナンス」を合言葉に長年培ってきたノウハウと技術で様々なご要望にお応えし続けていきます。

また、全国展開する互光グループは総合力を活かしています。質の高いサービス、より地域に密着した最適のメンテナンスを遂行するため創業以来次々と拠点を拡大し、多くの方々が高い評価を頂いて参りました。そのネットワークも現在、全国をカバーするほどに広がっております。互光グループの情報力、技術力はシナジー効果として高まり、社会への貢献度もさらに深まると確信しています。

【イチオシ①】 充実した教育・研修

創業以来、半世紀以上にわたり培ったノウハウを活かし、建物を利用するすべての人が快適に過ごせるよう、日々スキルの向上に取り組んでいます。

清掃・設備・警備教育、ビルクリーニング技能士養成教育、有資格者育成教育といった基本から専門技術の徹底指導によりプロフェショナルとしての養成や、普通救命講習（AED）、防災教育・訓練など大切な命を守るために定期的な訓練を

行っています。クリーンアップ・インスペクションなどフロント社員による建物の総合チェックも行っていきます。また、お客様へのご提案や要望にお応えするためにスタッフ研修、階級別研修、マナー教育、個人情報保護教育、安全衛生教育といった様々な教育を実施しています。グループ間でも知識や技術を共有し、全国で確かなサービスをご提供するため、フォアマン研修、ミドルマネジメント研修、部門別協議会などを行っています。

【イチオシ②】 UNICORNING

ビル集中管理センターの「UNICORNING」とは、設備管理と防災・防犯警備を同時に提供出来る安心・安全なセキュリティシステムです。業界でも独自のサービスで、お客様の大切なビルやマンションを様々なトラブルから守ります。機械監視システムと電話受付対応を融合させたセキュリティシステムが、建物の日常的な設備点検・運営管理から万一の防災・防犯警備まで幅広くカバーして、管理の一元化と対処の迅速化を実現しました。

お客様の電話を受ける者、警報を監視する者、出動して対応する者、ビル集中管理センターの担当員は全てが設備技術者です。例えば、水漏れ、トイレの詰まりなど水廻りのトラブルにも、安心・確実、迅速な対応が出来ます。もちろん、警備業法上必要な警備員資格は全員が取得しており、警備業務も出来る、頼りになる存在です。建物総合管理業として創業以来、半世紀以上にわたる確かな実績と信頼を元に、昭和五二年に業界でもいち早く開設した遠隔監視業務のノウハウにより、オーナー様の大切な資産である建物を二四時間、三六五日休まずに見守り続けます。

代表取締役社長 浅田晃洋

互光建物管理株式会社





経営委員会の活動

経営委員会では会員企業の「企業力の向上」に寄与する為に、今年度の事業計画を検討し主に次の事業に取り組んでおります。

① 教育及び訓練に関する事業

教育及び訓練に関する事業については、ビルメンテナンス企業の経営の実情やニーズに合わせた講演会並びに講座を開催し、よりビルメンテナンス企業の実情に即した内容を追求しています。具体的には、ビルメンテナンス企業社員のスキルアップの為にビジネス講座の開催（十月六日）、並びにマナー教育推進の為にマナー研修指導者養成講座の開催（十月六日・十三日・二十日）、外国人労働者の円滑な採用に関する講演会の開催（来年三月予定）を予定しています。

② 災害時に於ける「在宅並びに避難所衛生マニユアル」の発刊事業

二〇一九年十一月に大阪府と締結された災害協定を受け、その協定が有効に履行

される為に作成した「在宅避難衛生マニユアル」及び「災害時避難所衛生マニユアル」を発刊する事が出来ました。本年十一月上旬には大阪府への贈呈式が予定されております。

③ SDGs 推進事業

持続可能な開発目標についての取り組みについては、ビルメンテナンス企業に特化したSDGsのテーマをもとに「SDGsとビルメン企業」と題して九月十二日に講演会を開催致しました。

④ 関連団体との連絡調整に関する事業

関連団体との連絡調整に関する事業については、従来取り組んできた大阪ビルディング協会などの関連団体との交流を継続しながら、相互に情報の共有を進めて会員企業に有益な情報を発信してまいります。

（経営委員会 委員長 脇阪康弘）

会員だより

● 代表者変更

〔正会員〕
 ・株式会社三橋商会
 (新) 代表取締役会長 三橋 一夫 様
 代表取締役社長 高見いずみ 様
 (旧) 代表取締役社長 三橋 一夫 様
 取締役 高見いずみ 様
 (2022年11月1日より)

経営委員会より 書籍のご紹介



経営委員会で、毎年開催をしております「マナー研修指導者育成講座」の川崎美紀講師が、月刊誌「ビルクリーニング」に連載されたエッセイが一冊の本になっています。ビルメンテナンス、さまざまな多様性、地球環境など多岐にわたる内容が記載されています。会員企業の皆様にも参考になりましたら幸いです。



クリーンシステム
科学研究所

定価一、六〇〇円＋税

二〇二二年度

第三回 理事会

10月7日(金) 協会会議室

1. 審議事項

- ① 委員会・部会の変更
- ・ 経営委員会(委員辞退)
- ・ 広報委員会(委員辞退)

2. 報告事項

- ① 2022年大阪府環境衛生功労者に対する知事表彰の決定について
- ② 大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校 合同企業面接会(8月開催結果)
- ③ 全協事業に関して

- ・ 特定技能1号評価試験(出張試験 実施)
- 9月30日 滋賀県守山市
- ・ 外国人技能検定/10/12月
- (基礎級155名・随時級45名)

・ 特定技能1号評価試験

- (10月28日・31日・11月1日・2日) 4日間
- ・ 2022年度ビルクリーニング技能検定試験
- 学科: 11月27日 実技: 12月13日
- (1級287名・2級101名・3級158名 予定)
- ▲ 155名

- ・ ビルクリーニング特定技能国外対応試験官の公募について

3. 委員会・部会報告

4. その他

- ・ 次回の予定
- 理事会 2022年11月4日(金)
- 15時~16時(予定)

委員会・部会

■ 経営委員会 10月19日(水)

- 出席者10名 協会8階 中会議室
- 議案① SDGs推進事業に関する講演会開催について
- 議案② ビジネス講座開催について
- 議案③ マナー研修指導者育成講座開催について
- 議案④ 在宅並びに避難所衛生マニユアル大阪府贈呈式について

■ 広報委員会 10月20日(木)

- 出席者7名 協会8階 小会議室
- 議案① 「OBMマンスリー2022年10月号」の編集・校正について
- 議案② こみゆにけしよんず新春号VOL.101の編集について
- 議案③ OBM60周年記念誌発行について

■ 賛助会世話人会 9月9日(金)

- 出席者10名 協会8階 研修室
- 議案① ミニ展示会・講習会について
- 議案② 賛助世話人会 役員選出規定について
- 議案③ 今後のスケジュールについて

■ 労務委員会 9月13日(火)

- 出席者9名 ドーンセンター7階
- 議案① 労働衛生大会について
- 議案② 京都ビルメンテナンス協会の労働安全衛生大会について
- 10月21日(金) 出席者5名 協会8階 中会議室
- 議案① 労務管理セミナーについて
- 議案② KYT・リスクアセスメントセミナーについて
- 議案③ 労働衛生大会について

「かもめ」と長崎

理事 福岡 亮 二

九月の中旬に西九州新幹線「かもめ」の試乗会に参加する幸運に恵まれた。この路線は本来九州新幹線の新鳥栖駅を経由して博多―長崎間を一時間程度でつなぐ計画ではあるが佐賀県の合意が取れていないため途中の路線が完成しておらず武雄温泉―長崎間の部分開通となった。まだ全面開通の目途は立っていないようだ。存命中に是非博多から直通便の速さを味わってみたいものである。

さて、私は父親の仕事の関係で長崎市内に三年間下宿生活を送り高校に通っていた。その間、お盆と正月には、今はもう走っていないブルートレイン「寝台特急さくら」もしくは「特急」かもめ」と新幹線「ひかり」を乗り継いで親元の東京に帰省していた。

その時分は、長崎から博多までが二時間超、博多から東京までが七時間弱の長旅であった。当時から整備新幹線の計画はあったが、いつの事になるやら自分には全く関係がないと思っていた。高校卒業後は長崎には縁もなく訪れたのは社会人になってから二、三度出張で空路によるものであった。鉄路での長崎入りは実に四十年振りである。旧の「かもめ」が走る長崎本線は単線で佐賀の肥前山口駅（現・江北駅）で佐世保発の列車と長崎発の列車が合流する。特急列車が途中で連結して終着駅を目指すのは大陸の鉄道の様相ではあるが乗客数と単線ならではの産物ではないかと思っている。

長崎から肥前山口の間は有明海沿いの山が海の傍まで迫っている海岸線で、かもめは特急列車ではあったがコトコトと走っていた。穏やかな内海の風光明媚な景色を眺めながら学業成績不振

の言い訳を考えながらボーッと列車に揺られていたのが妙に心地よかった記憶がある。今回乗った新幹線「かもめ」はN700系の車両で「のぞみ」と同様時速二六〇km超で走行、新しい路線は違う場所に開通したが高架橋でビューンと瞬く間に長崎まで快走した。傷心の一人旅が似合う路線からビジネスや時短観光に適した路線へと様変わりしていた。

また、長崎駅の変貌振りにもびっくりであった。かつては終着駅独特の趣きがあり、貨物線の多さやホームの低さが目立っていた。就職や進学の際に見送りの人が多い旅立ちの駅、駅舎も背が低くどちらかというと淋しい印象の駅であった。また、街も駅を中心に栄えてはいなかった。それが久し振りに降りた終着駅は超近代的な駅に様変わり、列車は駅舎の上層階に着きエスカレーターで地上の改札に降りる（新大阪では当たり前）の光景だが地方駅では画期的な絵面。

駅を中心にコンベンションホールや高級外資系ホテルが数々と建てられており、国際観光都市を目指し、更にスタジアムや巨大駅ビルの建設工事も着々と進んでいた。過去の記憶からすると、まるで未来都市がタイムスリップで現れたような感覚を受けた。

今回の視察を通じて、様々な予想を感じ、色々な思索にふけり、数々の追想を巡らすなど、私にとりましては今後の過ごし方を再考する貴重な機会となった。

機会がありましたら、みなさんも是非「かもめ」で長崎を訪れてみてください。

労務委員会 労働災害事件事例

(2022年9月度発生分より)

1. 業務災害及び通勤災害数

- ①報告企業数 39件
- ②業務災害数 2件
- [内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 1件
- 15日以上休業見込み 0件
- 14日以下休業見込み 1件
- ③通勤災害 2件

2. 事故概要

- ①発生日時 2022年9月26日(月) 午前11時25分頃
- ②発生場所 大阪府泉南市りんくう南浜付近
- ③年齢・性別 73歳 女性 清掃担当
- ④発生状況 電動アシスト付自転車にて帰宅中、道路の凹凸に乗り上げ、ハンドルを取られて横転した。その際、道路と自転車に右足を挟まれ、右膝のお皿部分を骨折した。
- ⑤怪我の状況 右膝蓋骨骨折 休業31日以上
- ⑥原因と対策 電動アシスト付自転車は重量が重く、又スピードも出やすく凹凸部分に乗り上げた際に、反動により跳ね返りが強かった。電動アシスト付自転車の取り扱いには、充分注意が必要です。

事務局からのお知らせ

《教育センターだより》

(公財)日本建築衛生管理教育センター 講習会予定

- 貯水槽清掃作業監督者(再)
 - 2023年1月10日(火)～1月11日(水)
 - 2023年1月12日(木)～1月13日(金)
 - 於 阪急千里中央ビル
 - 受付 2022年11月17日(火)～11月24日(日)
- 清掃作業監督者(新規)
 - 2023年1月16日(月)～1月17日(火)
 - 於 阪急千里中央ビル
 - 受付 2022年11月24日(日)～11月30日(日)
- 防除作業監督者(新規)
 - 2023年1月23日(日)～1月27日(木)
 - 於 阪急千里中央ビル
 - 受付 2022年12月1日(日)～12月7日(日)
- 建築物環境衛生管理技術者
 - 2023年2月14日(火)～3月4日(日)
 - 於 阪急千里中央ビル
 - 受付 2022年12月8日(日)～12月14日(日)
- 統括管理者(再)
 - 2023年1月30日(日)～1月31日(火)
 - 於 阪急千里中央ビル
 - 受付 2022年12月8日(日)～12月14日(日)

※ 申込期間中、早めにお申し込み下さい。
 詳細・用紙のダウンロード・お申し込みは
 公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。

ホームページ <http://www.jahmec.or.jp/>
 TEL 06-6836-6605

OBM行事予定

10月	25 火	総務友好委員会 公益・契約委員会 中間監査 青年委員会
	26 水	ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2022 (東京ビッグサイト東展示棟 ~28日)
	27 木	公益・契約委員会/障害者雇用支援スタッフ養成講座③ 設備保全部会/東西交流会 (東京、~28日)
	28 金	ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験 (~11/2)
	29 土	
	30 日	
11月	31 月	
	1 火	
	2 水	
	3 木	文化の日
	4 金	三役会議・理事会
	5 土	
	6 日	
	7 月	
	8 火	ビルクリーニング受検準備講習会1級実技①班 (~9日)
	9 水	
	10 木	ビルクリーニング受検準備講習会1級実技②班 (~11日)
	11 金	ビルクリーニング部会 (別会場)
	12 土	
	13 日	
	14 月	設備保全部会 (別会場)
	15 火	
	16 水	ビルクリーニング受検準備講習会3級実技
	17 木	環境衛生委員会 青年委員会
18 金	総務友好委員会 労務委員会 ビルクリーニング受検準備講習会3級学科	
19 土		
20 日		
21 月	広報委員会 警備防災部会 ビルクリーニング受検準備講習会1級学科①班 経営委員会	
22 火	KYT危険予知訓練・リスクアセスメントセミナー ビルクリーニング受検準備講習会1級学科②班	
23 水	勤労感謝の日	
24 木	公益・契約委員会 ビルクリーニング受検準備講習会2級学科	

KKCお薦め講習会

令和4年11月以降に開催予定の講習は下記のとおりです。
詳細は、既に会員企業様にお送りしている開講案内、又はKKCホームページ
(<https://www.bmkkc.or.jp>) にてご確認ください。

●令和4年度 警備員現任教育

「令和4年度 警備員現任教育」は下記の日程で実施いたします。「教育実施証明書」は、受講された時間分でご交付いたします。

会場は全てエル・おおさかの視聴覚室です。収容率50%で実施しますので、残席わずかな日程もございます。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■基本教育(4H)

<会場> 全てエル・おおさか <時間> 全て9時25分~14時40分

(1)11月21日(月) (2)11月22日(火) (3)12月14日(水)

(4)12月15日(木)

■業務別教育(6H)

<会場> 全てエル・おおさか <時間> 全て9時25分~17時

(5)12月12日(月) (6)12月13日(火)

<申込> 開講案内裏面の申込書にてお申し込みください。

●ポリッシャー基本実技講座

ポリッシャーを正しく安全に使えるようにすることを目的に開催。ポリッシャーに関する知識・基本操作を学んだ後、少人数で実技の反復訓練を行います。

<日時> 12月1日(木) 13時~17時

<会場> 江戸堀フコク生命ビル講習会場

<対象> ポリッシャーの基本的な操作方法を正しく習得したい方など

<申込> 開講案内裏面の申込書にてお申し込みください。

●防除作業従事者研修

「建築物衛生法」に基づき事業登録を行っている事業者のための集合教育です。厚生労働大臣より登録を受けたKKCが実施し、修了者には「修了証書」を交付します。

<日時> 12月5日(月) 9時20分~17時

<会場> エル・おおさか

<対象> 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)」第12条の2第1項第7号の登録を受けている事業所及び受けようとする事業所の従事者

<申込> 開講案内裏面の申込書にてお申し込みください。

●派遣元責任者講習

労働者派遣事業に必要な派遣元責任者講習です。「労働者派遣事業関係業務取扱要領」で定められた時間と内容で実施し、講習当日の最後に労働者派遣事業の許可申請・更新の手続及び派遣元責任者の選任のために必要な「受講証明書」を交付します。

<日時> 12月6日(火) 9時30分~17時15分

<会場> エル・おおさか

<申込> KKCホームページからお申し込みください。

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター(KKC)教育訓練部

~講習会のご案内はホームページでも随時お知らせいたします~

電話：06-6836-7651 FAX：06-6836-7653

E-MAIL：bmkkc@swan.ocn.ne.jp URL：https://www.bmkkc.or.jp/

へんしゅうざっかん

編集雑感

先日、ふと自宅近くの川沿いを歩いていた。大和川沿いの道は舗装されていて歩きやすく、自然が残されていて空気もおいしい。朝から多くの人たちが歩いており服装もカラフルである。思いつきで家を出てきた自分の恰好が恥ずかしくなるくらいである。また、すれ違う者同士声をかけあっているのがとても印象的であった。

四十分ほどウォーキングをしていたところ、急におなか痛くなった。近くにトイレはなく、我慢しながら戻るにはあまりにも遠すぎる距離である。今までの人生経験から察するにこれはかなりヤバイやつである。

小走りであつた道を戻る。腹部を襲う便意の波がくるたびに立ち止まり波がおさまるのを待った。トイレを我慢している人だとバレるのが嫌で、立ち止まるときは川沿いに生えている草木を見ているように装った。波がおさまらない時はフェイクで伸びきっている草を手にとった。

私の様子を遠くから見ていたのである。年配の二人組が私に話しかけてきた。私の素性を探りながらではあったが、要約すると川沿いに生えている雑草の草刈りは背が高くなる前にすべきだとか、このあたりには抜いてはいけない草があるとか、川沿いの道を走る自転車はスピードを出しすぎて危ないので規制すべきだとか、たくさん苦情を言ってきた。

暗めの服装で何度も立ち止まり、川沿いに生えている草木を見たり、険しい顔で伸びている草を手にとったりしていた私が悪い。勘違いさせて申し訳ないが、私はおばあちゃん達が思っている行政の人ではない。険しい顔をしているのは本当に出そうだからである。今、私を引き止めることによって危機的状況がそこまで迫っているのである。逆に今すぐここに簡易トイレを設置しろと行政に陳情したいくらいである。おばあちゃん達には、真摯な眼差しで前向きに検討しますと答え、早足にその場を去った。

(Y・R)

「今そこにある危機」